

石神井図書館 図書館利用者懇談会

- 1 日時 令和6年10月31日（木） 10時～11時30分
- 2 場所 石神井図書館 2階 会議室
- 3 出席者 利用者17名
図書館 4名（石神井図書館館長、館長代理3名）
- 4 テーマ 「地域とのつながりから石神井図書館を考える」
- 5 配布資料
 - (1)次第
 - (2)これからの図書館構想の概要
 - (3)昨年の利用者懇談会以降のイベント一覧
 - (4)石神井ゆかりの作家のパスファインダー3点(草野心平・五味康祐・庄野潤三)
 - (5)しゃくじいたんけんぶっく
 - (6)読書週間事業「伝」ブックリスト
 - (7)直近のイベントチラシ3点（「樹木医と歩く石神井公園三宝寺池」・「がん予防啓発講演会 後日上映会「がんと診断された時から始まる緩和ケア」」・「秋の読書週間文学講演会「人を集めて並べたい～本づくりの秘密」」）
 - (8)アンケート
- 6 次第
 - 1 石神井図書館長挨拶
 - 2 図書館職員紹介
 - 3 地域連携事業についての報告
 - 1部 地域連携に関わる事業
 - 2部 学校との連携事業
 - 4 意見交換
 - 5 閉会の挨拶

石神井図書館利用者懇談会 会議録

1 石神井図書館長挨拶

これから『練馬区立石神井図書館 令和6年度 図書館利用者懇談会』を開会いたします。館長をしております、廣川と申します。本日はお忙しい中ご参加いただき、誠にありがとうございます。

本日のテーマは、昨年に引き続き「地域とのつながりから石神井図書館を考える」と題しまして、お話をさせて頂きたいと思います。石神井図書館は地域連携を大切に考え、運営を進めております。本日こちらにお集まり頂いている皆様にも、日頃から大変お世話になっております。第1部では石神井図書館で実施している事業の中から、皆様とも連携させていただいている地域連携に関わる事業について報告をさせて頂きます。休憩をはさみまして、第2部では地域連携事業として重要な位置づけにあります「学校との連携」についても報告させて頂きます。

それぞれの報告の後に本日ご出席いただきました地域のみなさま、図書館を利用されている団体のみなさま、近隣施設の方々からご意見をいただく時間とさせていただきます。

それでは、11時30分までの短い時間ではございますが、最後までよろしくお願ひいたします。

2 図書館職員紹介

館長、館長代理3名

3 地域連携事業についての報告

【1部】 地域連携に関わる事業

石神井図書館は、お手元の『これから図書館構想』の基本理念「世界につながる彩り豊かな知の情報拠点」に基づき、地域とともに歩む図書館を目指し、読書活動支援を土台としながら、近隣施設や関係部署、地域団体等の皆様と連携し、区民の暮らしに役立ち、地域社会の文化や生涯学習を支えていく知の基盤となる情報拠点として、様々な世代への読書支援と情報発信の充実を図っていきたいと考えています。

当館では、『これから図書館構想』のコンセプト1「世界の知と出会い、学びを豊かにする」に基づき、「多様な世界の入口としての図書館」を念頭に、様々な分野の本を入口に多様な世界に出会える幅広いテーマのイベントや展示を実施しています。配布しましたイベント実施一覧が、昨年度の懇談会から今年の10月までに実施しました一般・児童・青少年の事業になります。参加人数などは、こちらに書いてありますので、報告の中に出できます様々な事業に関してはこちらをご参照いただけましたら幸いです。

本日はこの中から、地域連携に関する事業について報告いたします。図書館構想のコンセプト2「練馬の文化を継承・発信する」、コンセプト3「知が交わり、創造を生み出す」を念頭に、石神井図書館では次の3つの柱で地域連携の事業を考えております。

- ① 石神井地域の豊かな文化・自然・歴史の特色、魅力を伝える事業
 - ② 関係機関等と連携し、地域の課題解決・生活に役立つ情報発信
 - ③ ボランティアや関係施設等と連携し、様々な世代への読書活動支援事業
- 以上3つの柱で事業を実施しております。

① 石神井地域の豊かな文化・自然・歴史の特色、魅力を伝える事業

一つめの柱「石神井地域の豊かな文化・自然・歴史の特色、魅力を伝える事業」に基づいては、主に6つのテーマで、近隣施設等と連携し、地域の方が地域の特色や魅力を知り、再発見することができるイベントや情報発信を行っています。

- i. 都立石神井公園の自然・歴史
- ii. 石神井地域の文化・歴史
- iii. ちひろ美術館・東京の魅力
- iv. 石神井商店街振興組合（パークロード石神井）
- v. 石神井地域の農について
- vi. 地域で活躍する方を講師としたお仕事講座

では順番に説明していきます。

i. 都立石神井公園の自然・歴史

一つめのテーマであります、都立石神井公園の自然・歴史を伝える事業の事例報告です。

6月の環境月間にちなみ、当館では、毎年階段のところでパネル展示を行っています。令和4年度からは、都立石神井公園センターにご協力いただき、公園が行っている「生物多様性保全の取組について」のパネルを展示しております。「多様な生物が生息する公園づくりの取組」として、例えば浮島や蝶々園、誘致林等の説明パネルや1年間の生物の活動サイクルなど、また、今年度は外来種の問題や令和5年度に観察された渡り鳥と樹木の様子等のパネルを作成頂き、紹介しました。地域の方々にとって、生活の憩いの場である身近な石神井公園ですが、普段歩いているだけではわからない生物の様子や、どのように守られ維持されているかがわかる貴重な機会として、好評を得ています。

次に紹介しますのは、石神井公園の歴史を知ることができる講座「石神井池とその周辺の史跡」です。こちらは5年目となる人気講座で、郷土史家の葛城明彦先生を講師に、毎年テーマを色々設け、散策と講座を組み合わせた石神井地域の歴史講座イベントとなっております。今年は前半に石神井公園や池淵史跡公園をはじめとした、石神井地区の史跡についてご案内いただき、その後こちらの会議室で座学の講義を行って頂きました。参加者アンケートでは、「講師の説明が大変詳しくて良くわかった」や、「地元民ですが、知らないことも多く、側を通るがよくわかっていない文化財などについて詳しく知ることができてとてもよかったです」等の声が寄せられました。地域の歴史の魅力を改めて知る良い機会となっております。

石神井公園の自然の魅力を知って頂く講座も実施しています。こちらは石神井公園センターにご協力いただき、今年の1月に児童向けイベントとして、「冬でしか味わえない石神井公園の姿を楽しもう 野鳥と冬芽」と題し、石神井公園センターの職員の方を講師に迎え、前半は講義を行い、実際の鳥の羽や冬芽を手で触りながら、冬芽の種類やどのような野鳥が好むのかなどをお話し頂きました。後半は実際に公園に行き、野鳥と冬芽の観察会を行いました。クイズやbingoゲームを交え、公園の冬の自然について楽しく学べる機会となり、子ども達がとても楽しそうに参加している姿が印象的なイベントとなりました。

また、今年度は、一般向けにNPO法人みどり環境ネットワーク！の樹木医の案内で、11月30日に「樹木医と歩く石神井公園三宝寺池」と題して樹木観察会を実施する予定です。お手元にあるチラシですが、昨日からちょうど予約がはじまっております。よろしければご参加頂ければと思います。

次に石神井公園センターのご協力で、今年の6月から始めた児童向けの事業をご報告致します。こちらの「しゃくじいたんけんぶっく」ですが、石神井公園に関するクイズを毎月カードにして児童に配布しています。お手元にありますように、こちらのクイズの部分を公園の職員の方に考えて頂き、図書館ではそれについて調べることができる本を紹介しています。お配りしているものは10月に配布しているものになります。翌月にクイズを解いた児童に回答を渡し、問題と解答のカードを集めて綴ると冊子になります。こちらは、公園センターと図書館の両方で配布しております。今後も様々な施設や機関と協力させていただいて、石神井地域を楽しんで知ることができるものとして、毎年新しいテーマで行っていけたらと考えております。お願いにあがることもあると思いますので、ぜひご協力をお願いいたします。冊子はのちほど後ろに展示いたしますので、ご覧頂ければと思います。

ii. 石神井地域の文化・歴史

次に二つめのテーマ、石神井地域の文化・歴史についての事業の事例報告にうつります。

今年は、お隣の石神井小学校が創立150周年を迎えました。ご存知のとおり、区内で一番古い小学校となります。現在階段のところで実施している「練馬区立石神井小学校150周年展」を後ほどご覧いただきたいと思います。こちらは、石神井小学校より写真をお借りして作成したパネル展示となります。石神井小学校のはじまりである、憲定院内に建てられた豊島小学校校舎の写真は、ふるさと文化館よりご協力いただきました。また、階段をのぼった壁面には、同校内の「きこえことばの教室」の紹介パネルを展示しています。こちらは、当館のスタッフが取材してまとめたものとなります。難聴学級（きこえの教室）は、都内で最初の開設となり、石神井小学校の特徴的な取り組みのひとつになります。また、会議室を出たところには、石神井小学校の卒業生の皆様に、小学校の思い出を書いて頂くコーナーを設けております。卒業生の方がいらっしゃいましたら、ぜひご参加ください。

また、石神井小学校150周年に因みまして、石神井公園ふるさと文化館の学芸員の方を講師に迎え、「石神井周辺の教育のあゆみ～昭和戦前期までを中心～」と題して、講演会を実施しました。昭和戦前期までを中心に、練馬区域の教育機関の変遷と石神井小学校の歴史をたどる内容で、江戸時代の寺子屋と区内に現存する関連墓碑の紹介から始まり、寺子屋の後身として明治時代に設立された家塾について、区内のどの辺りで開業され、どのような学習をしていたのかを開業願を読み解きながら解説していただきました。その後、石神井小学校のあゆみを前身である豊島小学校の誕生からお話ししていただきました。アンケートでは、「なかなかふだん聞くことのできない話であり、私も石神井小の卒業生があるので、関心がありました」等、まとまった資料の少ない分野でもある講演会は、非常に貴重なイベントとなりました。

続いても石神井公園ふるさと文化館のご協力で行っている事業のひとつをご紹介します。昭和20～30年代に石神井界隈に居を構え、檀一雄を中心に文学的交遊を繰り広げた作家たちを取り上げた石神井ゆかりの作家パスファインダーとブックリストの事業になります。パスファインダーとは、あるトピックについて調べるときに役に立つ資料の探し方やツールを紹介した手引きのことになります。令和5年度は作家・庄野潤三をとりあげました。今年は、こちらも石神井小学校創立150周年に因み、石神井小学校の校歌を作詞した詩人・草野心平を取り上げました。こちらの内容確認等をふるさと文化館の学芸員の方にご協力頂いております。こちらも現在石神井小学校関連展示で、草野心平に関する本と合わせて、展示しております。

また、石神井ゆかりの作家につきましても、毎年講演会を行っております。昨年度は、ふるさと文化館の学芸員の方を講師に「作家・庄野潤三について一練馬区居住期を中心に一」を実施し、生い立ちから始まり、上京した経緯、練馬区南田中町に居住していた頃のお話、家族構成の変化に伴う作品の傾向の変遷などお話を頂きました。アンケートでは、「庄野潤三の全体像が見え、非常に良かったです。」や、「これを機にまだ読んでいない作品に接していきたいと考えて居ります」など、満足度の高さが伺える感想が寄せられました。また、先日27日には、ふるさと文化館の元学芸員の方を講師に迎え、「作家・五味康祐 人生は音楽とともに」を開催しました。剣豪小説の世界で一世を風靡するとともに、音楽やオーディオ評論などでも大きな足跡を残した五味康祐の生涯の軌跡と作品の魅力について、常に人生の傍らにあったクラシック音楽を実際に聴きながら、お話を頂きました。アンケートでは、「とてもとても良かったです。五味作品が読んでみたくなりました」や、「五味康祐の人生を振り返りながら、途中で流される音楽を聞くことで、どんな人だったのかがよくわかりました。講師のお話もとても面白くわかりやすかったです」等、好評をいただきました。石神井ゆかりの作家たちは、地域の大きな魅力のひとつだと思っておりませんので、今後も引き続き、取り上げていきたいと考えています。

さらにふるさと文化館には、当館で活動されている練馬ふるさと紙芝居サークルの皆様が制作する紙芝居の絵の時代考証等でもご協力頂いています。こちらの紙芝居はふるさと文化館が発行している『ねりまの昔ばなし』をもとに作成しています。昨年度は「焼け弁天」を作成しました。こちらの紙芝居は図書館にも所蔵しています。後ろにも展示しておりますので、後程ご覧いただければと思います。

今年5月の文庫連絡会に参加した際に、地域のむかしばなしを知ることができますとしても良い資料としてご紹介頂きました。サークルの皆様は、のちほど紹介します図書館のイベントや地域のイベントにも参加され、上演でもご活躍されています。

iii. ちひろ美術館・東京の魅力

次に三つめのテーマ、ちひろ美術館・東京の魅力について伝える事業になります。

主に文化庁Innovate Museum事業として実施しています。こちらは、博物館が新たに求められる社会や地域における様々な課題への取り組みを文化庁が支援する事業となっています。石神井・貫井・南田中の図書館3館とちひろ美術館の連携で、ちひろ美術館で実施されている展覧会について知り、より深く理解していただくための講演会を開催しています。今年は、いわさきちひろ没後50年にあたり、美術館の方では年間を通して、いわさきちひろに関する展覧会を「あそび」「自然」「平和」のテーマに3期に分けて開催されています。石神井図書館では、10月に、絵本作家でいわさきちひろのお孫さんでもある松本春野氏を迎えて、講演会「誰もがみんな子どもだったーいわさきちひろと松本春野の絵本の世界」を開催しました。こちらは、当館を本会場に他2館にオンライン配信する講演会の形式で実施しました。松本春野さん自身を育んだ環境や、祖母いわさきちひろ自身の絵本制作への想い等をお話をいただきました。アンケートでは参加者全員から「良かった」との回答をいただき、感想としては、「春野さんとちひろさんの魅力が伝わってきました。絵本の世界は大人にも必要だと思いました」や、「お話を聴いていて涙がにじんでくる場面もありました。質問タイムのお話もとても楽しかったです」などの声をいただき、とても有意義で講師の想いが伝わる温かいイベントとなりました。また講演会としては初めての試みとなる手話通訳と同室保育も行われ、耳の不自由な方や子育て世代も積極的にご参加いただけるようにしました。

iv. 石神井商店街振興組合（パークロード石神井）

次に報告しますのが、今年度初の試みとなります、石神井公園商店街振興組合 パークロード石神井を紹介する事業になります。

こちらは、石神井池で8月3日（土）に開催された「第74回納涼灯籠流しの夕べ」にちなみ、石神井公園商店街振興組合（パークロード石神井）から昭和31～34年の灯籠流しの様子を写した写真を借り受け、「石神井 夏の風物詩「納涼 灯籠流しの夕べ」—昭和の風景」と題してパネル展示をしました。写真とともにパークロード石神井の説明や歴史、昭和30年代当時の社会情勢等を展示しました。地区ごとに競うように、社会情勢を反映させた意匠をこらして作成した巨大な灯籠や、股旅ものの仮装をした参加者等、今では見ることができないとても賑やかな様子がわかる楽しいパネル展示となり、多くの方の興味を引いていました。また当日は、石神井図書館の灯籠も参加いたしました。灯籠流しの様子も撮影し、後日、「石神井 夏の風物詩「納涼 灯籠流しの夕べ」—令和の風景」と題して、1か月程パネル展示を行いました。

v. 石神井地域の農について

五つめのテーマは、石神井地域の農に関する事業です。

昨年度の全国都市農業フェスティバルをきっかけに、「石神井図書館周辺の“農”を知る」と題して、近隣の農業体験農園「農の詩」を始め、11の農園にご協力いただき、紹介パネル展示の作成や、現在も館内で配布しております「石神井図書館周辺 農マップ」を作成しました。この時のご縁で、今年度も農家の方々にご協力いただき、児童向けのイベント工作会「野菜でスタンプを作ろう」を実施しました。農家の方々には、発育の悪い野菜や育ちすぎた野菜等をご提供頂きました。参加した子供たちは、野菜等に絵具をつけて、色々な形と絵柄を楽しみながら台紙に押して、うちわとメッセージカードを作成しました。また、完成品は記念品として持ち帰っていただきました。会場内に今回ご協力いただいた農家の方々をはじめ、近隣の農家を紹介するパネル展示をしたことと、当館で作成した農マップの配布したことによって、参加者に石神井地域の農の魅力について知って頂く機会となりました。

vi. 地域で活躍する方を講師としたお仕事講座

最後のテーマは、地域で活躍する方を講師とした青少年向けのイベント「お仕事講座」の実施報告です。

ご覧になったことがある方もいらっしゃると思いますが、石神井池のほとりに素敵な事務所を構えていらっしゃる建築家の武田清明氏を講師に、同氏が設計した建築事務所を本会場としてイベントを開催しました。プロジェクターで写真を見ながらの座学の際に、常に建築を考えているという同氏の、家族や仲間との日常の過ごし方が紹介されました。また区内高架下の再生プロジェクトを例に「環境のための建築」に対する思いを語って頂きました。その後、石神井池が見渡せる、植物や果樹が茂る建物の屋上や、事務所内部、住居スペース等を見学し武田氏には、参加者からの様々な質問に分かりやすく回答して頂きました。アンケートでは「武田先生の考えが詳しく聞け、実際の仕事の様子が分かつてよかったです」や、「早く建築の勉強をしたくなかった」等の回答を得ることができ、建築家と対話し学ぶ時間を、参加者が生き生きとした表情で楽しんでいる様子が印象的でした。今後も図書館事業を通して、青少年の関心に沿いながら将来や学習につながる機会を提供したいと考えています。

以上が、一つめの柱の石神井地域の豊かな文化・自然・歴史の特色、魅力を伝える事業の報告となります。

② 関係機関等と連携し、地域の課題解決・生活に役立つ情報発信

次に二つめの柱、関係機関等と連携し、地域の課題解決・生活に役立つ情報発信についての事例報告になります。

当館では、様々な関係部署や機関と連携し、生活に役立つ講演会や展示等を実施しています。こちらに挙げた6つが主に連携した関係機関、部署となります。

- i. 子ども家庭支援センター
- ii. 地域包括支援センター
- iii. 練馬区地域医療課
- iv. 練馬区健康推進課
- v. 保健相談所
- vi. 白百合福祉作業所

i. 子ども家庭支援センター

地域子ども家庭支援センター大泉と連携し、昨年度より親子で参加できる「子育て応援講座びよびよin 石神井図書館」を実施しています。

令和5年度は、同センターの職員を迎えて、センターの紹介と練馬区の子育て情報の案内をして頂き、図書館ではスタッフが絵本の読みきかせと図書館で得られる子育てに役立つ情報や資料を紹介しました。手遊びを交えながらリラックスした雰囲気の中で行われ、アンケートでも全員の参加者が「良かった」と回答しており、「子育て情報について色々と知ることができて良かったです」や、「子どもをあそばせながらお話をきけてよかったです」という感想をいただき、好評を得ました。

今年度も、同センターのすぐすぐアドバイザーを迎えて、未就学児を持つ保護者の子育ての悩みや疑問にアドバイスを頂くなど、保護者同士で自身の経験を話し合うといった交流会を開催しました。終始和気あいあいとした雰囲気で行われ、参加者からは、「悩みを聞いてもらえてよかったです。また参加したい。」や、「地域で遊べる場所がわかつて良かった。」などの感想をいただきました。図書館からは、館内の「子育て応援コーナー」や「石神井図書館館内ガイド・子育て編」の紹介と、離乳食やお母さんの困りごと、子どもの成長に役立つ本を紹介しました。今後も継続して実施していくたいと考えております。

ii. 地域包括支援センター

もうひとつの地域お役立ちのテーマとして、介護について、石神井地域包括支援センターのご協力で事業を実施しています。

昨年度は練馬区介護保険課の講座「介護保険ってなんだろう？一家族やあなたが突然おれたらどうする？」を実施し、地域包括支援センターの職員の方に、介護が必要になった際にどのようなことを相談できるかお話を頂きました。

今年は、介護予防をテーマに、介護が必要にならないために、予防できることや準備すべきこと、利用できる支援などについて知ることができる事業を実施しました。「生活お役立ち講座 体操で健康な体をつくろう！」と題して、体操講師と地域包括支援センターのセンター長を迎えて、介護予

防の体操と介護予防の支援に関する講座を行いました。体操講師の軽快な話術と、適度な難易度の体操に、終始和やかで楽しい雰囲気の中で行われました。アンケートでは「とても楽しかったので定期的に開催してほしい。」や、「集団での運動が気持ちよかったです。」など好意的な感想を多数いただきました。また、体操後にセンター長による認知症や不慮の事故や病気の備えとなる、任意後見人制度について説明を行って頂きました。こちらも熱心に聞いている参加者が多く、全体を通して非常に良いイベントとなりました。今後も継続して、より多くの方に情報が届くよう、年に何回か実施していきたいと考えています。

iii. 練馬区地域医療課

次は毎年、行っている医療関係の事業になります。こちらはそれぞれの課主催で行っている講演会の後日DVD上映会を当館で実施しております。ひとつは、練馬区地域医療課が実施している在宅療養に関する講演会で、9月に 医療法人社団Life Design城西在宅クリニック・練馬の医師による「明日の自分を考える ひとりぐらしの在宅療養」についてのお話で、練馬区では様々な治療が在宅で手厚く受けられるというお話をされており、参加者の関心を集めました。

iv. 練馬区健康推進課

もうひとつは、練馬区健康推進課主催で、順天堂大学医学部附属練馬病院の医師を講師として行っている「がん予防啓発講演会」になります。今年度はこれから11月16日に実施します。今年は、「がんと診断された時から始まる緩和ケア」をテーマに実施します。お手元にちらしがあると思いますが、席にまだ余裕がございますので、よろしければご参加ください。

v. 保健相談所

次に児童向けイベントとして、練馬区石神井保健相談所との連携事業を紹介致します。絵本と歯ブラシで親子のコミュニケーションは継続して実施しているイベントになります。保健相談所の歯科衛生士による歯みがきのおはなしと、図書館員による絵本の読みきかせや、手あそびなどを組み合わせた人気イベントになります。

もう一つ、今年度初めて実施したのですが、「備えていますか？親子で考えるぼうさい食」と題し、講師に練馬区石神井保健相談所の栄養担当係の管理栄養士2名を迎えて、イベントを実施いたしました。9月1日の防災の日を前に、参加してくれた親子それぞれの家庭の人数に合わせた備蓄品をそれぞれ割り出し、今自宅にある食料を基に、災害が起きた時の3日間の食事について親子で考えました。また、災害時でも火を使わずにできる調理の実践や、備えておくと便利な物なども紹介していただき、防災に対する理解が深まるとともに、備蓄の重要性を親子で体感するきっかけになるイベントとなりました。

vi. 白百合福祉作業所

最後に紹介しますのは、お向かいの白百合福祉作業所のご協力で昨年度から実施しています「出張！白百合福祉作業所」になります。

こちらは地域の福祉作業所である白百合福祉作業所の障害者の就労支援、生活支援に関する事業内容を紹介するイベントとなります。今年度も8月に実施し、こちらの会議室に、さをり織りや手すきハガキ等の自主生産品や、仕事内容についてまとめたパネル展示をしました。また同所が行っている

仕事や活動内容の動画の上映も行いました。また自主生産品として作成しているオリジナル缶バッジの制作体験会も実施していただきました。缶バッジは同作業所の利用者の方が描いた絵を印刷し、参加者が好きな色を塗って完成する形で、子供から大人まで多くの方にご参加いただきました。体験した子供たちは、缶バッジを作る機械にも興味津々で、完成した缶バッジを手にとても喜んでいました。大人の参加者は、パネル展示や展示された小物も見て、いくらで販売しているのか等を職員の方に質問している様子もあり、帰り際に「知らなかったので知ることができて良かった、頑張って欲しい。」と直接声を掛けてくれた方もいらっしゃいました。福祉作業所の仕事について、図書館の来館者に広く知っていただくきっかけとなり、作業所の利用者の方にとっても、普段と異なる場所で交流をする機会を作ることができたのではないかと思っております。

以上が二つめの関係機関等と連携し、地域の課題解決・生活に役立つ情報発信についての事例報告となります。

③ ボランティアや関係施設等と連携し、様々な世代への読書活動支援事業

次に三つめの柱、ボランティアのみなさまや関係施設等と連携し、様々な世代への読書活動支援事業について報告を致します。

最初にボランティアの皆様との連携事業についての事例をご報告いたします。

当館では、石神井ブックスタートの会の皆様が、ブックスタートを毎週水曜日と第2・第4土曜日に行っております。練馬区では、絵本を通じて親子のふれあいを深め、また絵本に親しんでもらえるように赤ちゃん向けの2冊の絵本をプレゼントし、絵本のよみきかせや手遊び、親子のふれあいと絵本についてのお話や、区内施設の利用案内なども行っています。

石神井図書館のブックスタート参加者は、光が丘・練馬図書館に続いて3番目に多く、赤ちゃんの頃から図書館に親しんでもらえるとても良い機会だと思っております。

続いて、よみきかせ・おはなし会について報告いたします。

幼児から低学年向けのよみきかせは第3を除く水曜日の午後3時から、おはなし会は第3水曜日の午後3時から行っております。また、乳幼児向けおはなし会を第1・第3金曜日の10時30分から行っています。これらは、毎回ボランティアの方々と相談しながら、プログラムを決めて実施しています。ボランティアの方々が披露される絵本はもちろんですが、様々な手遊びや素話をやっており、何度も足を運んでくれる利用者の方もいらっしゃいます。

次に布のえほん制作の事例についてご報告いたします。

当館では第2・第4火曜日に、布のえほんの会こぶしのみなさまが活動しています。毎年新しい布のえほんを制作して頂いており、昨年制作されたオリジナル作品『どっちがひだり？みぎ？』は、子供が遊びながら左右を理解できる楽しい絵本になっております。他にも『モグモグぱっくん』、『みんなでひとつ』など素敵な作品を制作されており、本日も後ろに展示させていただいておりますので、ぜひご覧ください。

練馬区の布のえほんの会は今年で20周年を迎えました。5月には光が丘図書館主催で記念のイベントが開催され、布のえほんの会こぶしの皆様の作品を含め、練馬区の布の絵本の会の作品が一堂に会し、大変見ごたえがありました。

次に、当館で実施いたしましたおはなし会フェスティバルについてご報告いたします。おはなし会フェスティバルは、昨年と今年、2年続けて行っている事業で、よみきかせボランティア、ねりま地域文庫読書サークル連絡会、ねりまおはなしの会の方や練馬ふるさと紙芝居サークル、東京学芸大学附属国際中等教育学校の生徒のみなさん等、様々な方にご出演いただき、すばなし、手遊び、紙芝居、絵本のよみきかせなど、バラエティに富んだ演目を、石神井図書館スタッフと一緒に1日を通して行うイベントになります。当日は子どもたちだけでなく親子や大人のみでの来場も多く、出演者とのやり取りを楽しむ様子も見られ、今年の参加人数はのべ156名となりました。大人も子供も楽しめる充実したイベントとなりました。

続いての事例は、練馬人形劇サークルに所属している「おむすび座」に依頼して行った「みんなあつまれ！にんぎょうげき」についてです。当日は『ぐりとぐらのえんそく』、布のまき絵『おじぞうさん』、歌『ひのたまかぞえうた』『はたらくくるま』を上演していただきました。石神井図書館では、毎年練馬人形劇サークルの方に依頼して人形劇を上演していただいておりますが、参加者からは、「面白かった」や、「子どもたちもあきずに楽しめる長さと内容でした」等の感想が寄せられ、今年も大盛況となりました。

以上がボランティアやサークルの皆様との連携事業の報告となります。

続いて、「子育て家庭の読書支援のための図書館利用者向け託児サービス」についてご報告いたします。特定非営利活動法人「手をつなご」に依頼して、生後6か月から未就学児の託児サービスを行い、子育て中の利用者に読書や調べものなど、図書館を利用しやすい環境を提供するという主旨で行っております。参加者からは「ゆっくり本を選べた」や、「近くにいるので安心できる」等の声が寄せられ、読書活動支援としての意義を感じております。

次にご紹介する事例は区内施設との連携事業として出張おはなし会を行った、2つの事例についてご報告致します。

石神井南幼稚園からの依頼を受け、園児300名を対象に、出張パネルシアターを行いました。『ブレーメンのおんがくたい』『さるかにがっせん』『南の島のハメハメハ大王』など、それぞれおはなしに合わせた音響効果も入れながら行うことで、おはなしの世界が広がり、園児達もとても楽しんでいる様子でした。

二つめの事例は民間学童保育こどもフローラから依頼されて行った、出張おはなし会についてです。小学1・2年生を対象に、アニマシオンというクイズやゲームなどを交えておこなう参加型のよみきかせを2作品行いました。1冊目はよみきかせをした後、物語に関するクイズを出題、2冊目は読み間違えたところを当ててもらうゲームを行いました。普段のよみきかせとは一味違った内容で、子どもたちもたくさん手を挙げ答えていて、とても楽しそうな様子でした。

また、12月には石神井児童館で行います「わんぱく年末おたのしみ会」にパネルシアターで参加する予定になっております。この練習も現在行っており、当日が楽しみなイベントとなっております。

次にコロナで一旦お休みしておりましたが、昨年度から再開いたしました高齢者施設への出張おはなし会についてご報告致します。近隣の高齢者施設でボランティアの方々にもご協力いただきながら、出張おはなし会を行っています。

今年度はフローラ石神井の入居者の皆様に向けたおはなし会を行いました。

おはなし会のプログラムは事前にボランティアの方と相談し、紙芝居や大型絵本のよみきかせに加え、簡易的な体操や詩の音読等を取り入れ、参加者が体を動かしたり、声を出したりしてもらえるような内容にしました。入居者の方にも喜んで頂いている手ごたえを感じておりますので、今後も継続して実施していきたいと考えております。

最後に地域の読書活動支援の一環として、本を通して参加した地域のイベントについていくつか紹介いたします。

石神井氷川神社で5月に開催される地域のものづくりを味わうことができるイベント「井のいち」や、8月の「ちゃが馬七夕」では、本の展示やおはなし会などで参加いたしました。「井のいち」では、井のいちに関わる人々に「まちの人に読んでほしい本」を紹介いただき、会場に展示しました。会場ではいすを置いて、美しい縁の中でお気に入りの本を見つけて頂き、読んでいただけるようにしました。今年の新たな試みとしては、会場で参加された方にもおすすめの本を募りました。こちらは、来年度の「井のいち」で展示する予定になっております。また、イベント当日に展示した本は、後日館内でも展示し、当日参加できなかった方にも本を見ていただけるよう、また地域で行われているイベントに興味を持っていただけるよう工夫いたしました。

もう一つの「ちゃが馬七夕」では、先ほどご紹介しました「練馬ふるさと紙芝居サークル」の上演を支援させていただいております。会場では、制作した紙芝居を展示いたしました。また館内でも、練馬の伝統的な七夕かざりであるちゃが馬を展示して、「ちゃが馬七夕」の紹介をしました。

そして、今年度は、5年ぶりに行われた白百合福祉作業所主催の「しらゆりまつり」にも参加しました。おまつりの会場である食堂の一角で、ハロウィンが近いことからおばけが主役の大型絵本のよみきかせ等を行いました。定番の大型絵本のよみきかせでは、未就学児から高齢者に至る幅広い年齢層の方々にかけ声を頂く、楽しいおはなし会となりました。地域に開かれたとてもアットホームな雰囲気のお祭りで、また来年度もぜひ参加させて頂ければと思っております。

最後に2つのイベントについて紹介致します。石神井公園区民交流センターで行われている消費生活展ねりまは、昨年に引き続き11月に、また、石神井公園主催のシンクエシカルパークデーは3月に参加予定となっています。昨年度は、どちらもエシカル図書館と題して、環境問題やSDGsに関連する本の展示やお話会、工作会を行いました。今年の「消費生活展」は、11月23日に実施される予定で、食をテーマに参加する予定になっています。

以上が地域連携事業のご報告となります。

ここまでとのところで何か質問がありましたら、挙手をお願いいたします。

特にご質問ないということのため、ここで、一度休憩をはさみまして、学校連携についてのお話とさせていただきます。

後ろに当館で行ったイベントのチラシを展示しておりますので、そちらもよろしければご覧いただければと思います。また、先程ご紹介いたしました布のえほんと練馬ふるさと紙芝居、図書館で作成した「しゃくじいたんけんぶっく」も展示しましたので、よろしければご覧ください。

(10分休憩)

【2部】 学校との連携事業

学校連携についてお話をさせていただきます。

当館では、子どもの読書活動の推進に関する考えに基づいて、さまざまな学校支援事業などを行っております。ここからは学校との連携についてご報告させていただきます。

当館では、石神井小学校、上石神井北小学校、下石神井小学校、光和小学校、大泉東小学校、東京学芸大学附属大泉小学校、石神井中学校、石神井南中学校、東京学芸大学附属国際中等教育学校、早稲田大学高等学院中等部、都立大泉高等学校附属中学校の11校を支援校としております。支援の内容としては、団体貸出・図書館見学・職場体験・学校訪問と、大きく4つの項目に分かれます。

まず団体貸出についてご報告いたします。

毎週月曜日に青い折りたたみコンテナにご依頼いただいた本を詰めて、配送業者が各学校に本をお届けしています。

11校の支援校への貸出の他、近年は文庫活動をされている団体等への貸出や、児童館、幼稚園への貸出も大変増えております。令和5年度、貸出冊数は8951冊と定期的な利用を維持しております、特に大泉東小学校は全クラスが学期ごとに学級文庫のための利用をしており団体貸出の数の大きな割合を占めています。

次に図書館見学と職場体験についてご報告いたします。

今年度実施、また実施予定の図書館見学・職場体験受入の学校をこちらにまとめております。今年度は図書館見学、出張図書館見学は小学校6校、職場体験は中学校7校の受入を行いました。

職場体験の受入数は毎年増えている傾向にあり、支援校以外の学校からの依頼もあります。支援校以外の学校からの依頼は、周辺にお住まいの生徒からの依頼となっており、都立西高校からはボランティア活動として2名受入れました。また、実践女子大学は司書資格取得に向けて図書館での実習活動を希望する学生を受入まして、こちらは8日間受入いたしました。

プロジェクターに映っておりますのは、昨年下石神井小学校で行った出張図書館見学の様子です。

出張図書館見学とは予め館内を撮影したDVDを見ながら説明し、その後子供たちから質問を受けるというかたちで進めております。

次に、毎年秋の読書旬間の期間（10月27日～11月9日）に石神井小学校からの依頼を受けて、よみきかせ、探検ラリー、ブックトークを行っております。例年、1・2年生が読み聞かせ、3・6年生がブックトーク、4・5年生は本の探検ラリーの依頼があり、本日も2年生のよみきかせにスタッフが石神井小学校に伺っております。

本の探検ラリーは、ねりま子どもと本ネットワーク（N C B N）の協力の元、難易度に合わせて用意された本をよみながら、クイズ形式で問題を解くことによって本に触れる機会を作り、読書の興味を引き出す事を目的としています。今年度は支援校の先生方に探検ラリーを体験していただく機会を設けた結果、来年3月に新たに下石神井小学校から本の探検ラリーの依頼を受けています。

以上が学校支援についてのご報告になります。

続いて、その他の学校支援事業についてご報告いたします。

今年は先ほどの報告にもありました通り、石神井小学校が創立150周年を迎えました。当館では150周年の記念として、児童室に全学年の子どもたちから「石神井小学校の好きなところ」と題してポップを作成してもらいました。そのポップは来年3月まで各学年、月ごとに展示してまいります。今月は3年生を展示しております。来月11月からは4年生を展示する予定です。

毎年、石神井中学校の生徒さんが「石神井中学校家庭部によるスペシャルおはなし会」としてよみかせを行っております。毎年新年度が始まるとおはなし会に向けての準備のため、本の貸出の依頼があります。当日は、家庭部の生徒18人によるおはなし会をやり、季節感のある絵本を中心のおはなし会で、家庭部教諭の軽快な進行のもと開催されました。参加された方からも「中学生のお兄さんお姉さんが読みきかせしてくれて、子どもにとって貴重な体験をさせてもらえてよかったです。」等の感想をいただいております。

同じく石神井中学校の、特別支援学級からの依頼で、昨年に引き続き服のリサイクルBOXを設置しました。こちらは「服のチカラプロジェクト」といってファーストリテーリングとUNHCR（国連難民高等弁務官事務所）が取り組む中高生参加型の学習プログラムとなっておりまして、画面にありますように、いらなくなつた洋服を回収させていただくように、BOXを2階のテラスの前に設置しました。今年も10月22日～27日まで設置しまして、洋服の回収をいたしました。

次に都立大泉高等学校附属中学校の1年生によるPOP144枚と紹介されていた本を2階で展示いたしました。大泉高校では、毎年書店で主催しているPOPのコンクールに応募されているそうですが、展示スペースに限りがあるという話を伺い、図書館での展示を実現させていただきました。

東京学芸大学附属国際中等教育学校の生徒による英語でのよみかせを行いました。こちらは、イベント告知のチラシとポスターを生徒たちが作成しました。イベントの楽しさも伝わるカラフルなものとなりました。生徒が演じることで親しみやすく、英語にふれるいいきっかけとなるイベントでした。こちらのポスターも後ろに展示しておりますので、後ほどご覧ください。

最後に図書館を使った調べる学習コンクールについてです。

この事業は石神井・平和台・大泉・関町・貫井・南田中の6館合同で行っており、石神井図書館は令和2年度から参加しております。

小学生、中学生、高校生を対象に、図書館の本を使って調べた作品を募集し、部門ごとに審査を行い、優秀作品を表彰するものです。

年度の初めに支援校へは「図書館を使った調べる学習コンクール」の参加についてご案内させていただいております。また、審査会へのご協力も先生方にお願いしており、今年は5校の先生方が審査会にご協力いただき、こちらの会議室で審査会を行いました。

今年は小学生14作品の応募があり、先月審査会が行われました。石神井図書館からは2作品が全国コンクールに出品される事になりました。また、昨年度からロータリークラブ賞という賞も設けられ、石神井図書館から2作品が入賞となりました。

今年度当館からは、最優秀賞、優秀賞と、ロータリークラブ賞合わせて4作品の入賞が決まっており、今週11月2日(土)にこちらの会議室で表彰式を行う予定になっております。

学校連携についての報告は以上です。

連携事業に関しましては以上になります。

最後にご紹介したいのは、読書週間の期間に合わせて行っている館内全体展示です。

毎年、10月27日から11月9日の読書週間にちなみ、館内全体で共通テーマの展示を行っております。今年は、「伝統」「伝承」などの古くから続いてきたコトを伝える熟語や、「伝記」「自伝」など一人のヒトについて伝える熟語、意思や情報などを相手に伝える「伝達」など、さまざまな「伝える」という漢字が入った熟語をテーマとしました。各分野の担当スタッフがおすすめしている本のバックリストを、本日お配りいたしました。こちらを片手に館内を巡っていただければと思います。報告は以上となります。

4 意見交換

図書館 それではここからは、みなさまとの意見交換の時間とさせていただきます。ご発言に際しまして、発言をなさる方は最初にお話いただく前に、団体に所属されている方は、団体名をおっしゃつてから、ご発言いただきますよう、お願ひいたします。また、一人でも多くの方にご発言いただきたいため、大変恐れいりますが、ご発言はおひとり様3分程度とさせていただきます。皆様との懇談会が有意義なものとなりますよう、ご協力をよろしくお願ひいたします。

また、さきほど冒頭でも申し上げましたが、本日のテーマは「地域とのつながりから石神井図書館を考える」でございます。

そのため、館独自で答えられないような、例えば図書館システムに関わる内容など、区立図書館全体についてはお答えできない場合があります。その際は、練馬区立図書館を総括しています光が丘図書館に、その内容を伝えます。後日、光が丘図書館と調整して、ホームページで回答をさせていただく予定です。

また、よろしければ、11月22日（金）午前10時～12時に行われます、光が丘図書館での懇談会にご参加いただいて、そちらで質問していただければ、より詳しい回答があると思います。

何かご意見のある方、挙手をいただけますでしょうか。

利用者 高齢者施設のよみきかせボランティアをやっております。先程の事業報告ですが、たくさんイベントをやっていて、素晴らしいと感心をいたします。ただ、実施の成果の報告だけで終わってしまっている感じがします。図書館の本来の業務、といえるかどうかは分からぬですが、資料提供の部分で、例えば来館者数や、貸出冊数、あるいはレンタルなどについての報告もぜひ欲しいと思いました。

あと、これはどこまでここで聞けるか分かりませんが、特に新しいサービスを始められているようなことはないのかな、と思いました。例えば、電子書籍など、石神井図書館1つでは無理でしょうけれど、他のところでは進んできているところもあるのでそういうところも今後ご検討いただければと思います。

図書館 電子書籍に関しましては、今度のシステムリプレイスが年末年始にあります。その際に、導入されると決まっておりますので、そちらに関するお問い合わせをお伝えして

いきたいと思っております。

図書館 その他、ご質問やご感想など何かございましたら、挙手をお願いいたします。

特にないようなので、順番にマイクを回していくので何か一言ずついただいてもよろしいでしょうか。お願いいいたします。

利用者 フローラ石神井公園です。

先日はよみきかせボランティアに来ていただきまして、ありがとうございました。利用者さま、とても喜ばれていきました。また、うちの法人、こどもフローラもあり、そちらでもよみきかせをしていただいて、子供たちとても喜んでいたということで、ありがとうございます。今後もまた、打合せしながら、どんな本がいいのかなというところも、私たちも参加して話をさせていただけたらと思います。よろしくお願ひします。

図書館 よろしくお願ひします。

利用者 布のえほんの会こぶしです。

こちらで展示していただいて、大変嬉しいですし、関心を持っていただけて嬉しく思っております。私どもも9年目になりますので、慣れてきたのと同時に、色々と問題も起きました。それでも、滑らかに運営できておりますのは、手前味噌になりますが、素晴らしいメンバーに恵まれているということもあるのですが、図書館の方からも、館長をはじめ、皆さんに大変フォローしていただいて、有難く思っております。お手伝いをしているつもりですが、やはり助けられているというところもあり、双方向にうまい具合にできているのかなと思い、有難く思う一年でした。よろしくお願ひいたします。

図書館 ありがとうございます。

利用者 石神井公園ふるさと文化館です。

ふるさと文化館をご存じない方がいらっしゃるかと思い、練馬区の歴史等を展示する場所でもあります、常設展示の他に、特別展もやっておりますので、ご案内を置かせていただいております。

先程、事業で私どもが協力している内容についてはご紹介がありましたが、ちょっと悩みながらご協力させていただいております。図書館のみならず、図書館の目標が、「地域の知の基盤となる情報拠点」ということで、色々な事業に手を広げられていて、その中で私どもが、先程の、事業報告の中にありました、石神井地域の豊かな文化・自然・歴史の特色・魅力を伝える事業として、講演会等にうちの方の学芸員を講師として派遣させていただいております。ただ、それだけですと、どうしても、「知の基盤の情報拠点となる」というところではいいと思いますが、どういうふうに図書館の本来の事業につながるのかなと思い、いつも悩んでおります。その中で、練馬ふるさと紙芝居サークルが、こちらの事業で、進められておりまして、最初、私が講師で、うちが発行した『ねりまの昔ばなし』についてお話させていただき、それを基に、紙芝居を作っていただいて、いつも校正していて素晴らしい出来上がりだと感心しています。上演等をされる機会があるということですので、その機会に、こちらからも出張して、紙芝居と周辺情報について、何かご協力できることがないかということ

で模索して、お互い協力しているところでございます。ただ講演するだけでなく、図書事業につながるやり方というものを、お互い相談させていただきながら、できればいいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

図書館 ご提案ありがとうございました。今後、練馬ふるさと紙芝居サークルとふるさと文化館のご協力で実施する予定となっておりますので、よろしくお願ひいたします。

利用者 石神井台児童館です。

本日はありがとうございました。今日お話を聞かせていただいて、色々な情報をいただき、児童館の事業に生かせるものもあったように思います。

児童館は、0才から18才までの子供たちの居場所であるとともに、乳幼児親子さんでも、保護者の方が悩まれたり、場所を探していたりなどの、場所を求めているということがたくさんあると思います。そちらの方も情報を提供するなど、色々児童館として出来ることを、今後図書館様の方と、また皆様と連携させていただきたいと思います。ありがとうございました。

図書館 ありがとうございます。

利用者 練馬ふるさと紙芝居サークルです。

先程、館長さんやふるさと文化館の方からもご紹介いただきましたが、私どもは、『ねりまの昔ばなし』という、ふるさと文化館から出ている本を基に、練馬の昔ばなしを、これまで5年で、10作くらい、年に2作ずつぐらい作っております。そして、図書館にご協力いただきまして、印刷し、12の図書館に置かせていただいております。なかなか、時代考証など難しいこともありますが、6人のメンバーで楽しんでやっております。これからもよろしくお願ひいたします。

図書館 よろしくお願ひいたします。

利用者 石神井公園サービスセンターです。

今日初めて参加して、石神井図書館さんも色々なイベントをやられているということで参考になりました。石神井公園も色々と図書館さんと連携しています。今回特に、サービスセンターの窓口のところのロビーで、石神井公園が作成している生態系のものを、こども図書館として、自然に関する図書や昆虫、植物などを提供しました。また、先程説明にありました、「しゃくじいたんけんぶっく」というのを我々のところの受付で配っていますが、子供たちが声をかけやすいように、ひらがなで「ほしいひとはいってね」と書いて、たまに声をかけてくる子供たちに配布するなどで連携をとっています。今後ですが、12月に子供向けのキッズ防災のイベントを図書館さんと連携してやる予定になっております。引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。

利用者 今日はありがとうございます。あしあと文庫です。

家庭文庫をご存じない方もたくさんいて、「それは何なの」と言われてしまうことが多いですが、自宅で小さな図書館ということで、助成もいただきながら、私の家では、家の廊下が本で埋め尽くされた状態で運営しています。自宅は石神井町2丁目と、ここからはかなり遠い場所になります。自転

車がないとなかなか行こうかな、と思えない場所です。平日文庫を開けても利用者があまりおらず、知り合いばかりで幅が広がらないので、悩んで夕方開けてみたところ、「図書館が遠いから行かれない」という小さいお子さんをお持ちのお母さんが、「やっと来られました」と言つていらっしゃいました。このような形で、ようやく知らない方も利用してくれるようになりました。

先日は、こちらでのおはなし会の方にも参加したり、たくさんの本を読んで、どんな本を推薦して読んでもらったらいいか、ということを考えながら「よんでみようこんなほん」のリスト作成に毎年協力したりしています。普段は公共のところではなく、お金を出して借りるところでのワークショップをやっていますが、名前を知つていただけるような活動を、これからも図書館さんに助けていただきながらやっていけたらなと思っています。

図書館 よろしくお願ひいたします。

利用者 石神井地域包括支援センターです。

石神井地域包括支援センターでは、先程の報告の中に挙げていただきましたが、いつも庁舎の方でやっている体操教室の先生に来ていただきて、石神井図書館で今回体操教室を行いました。結構好評だったと先程お話いただき嬉しく思いました。今後も、そういった活動を続けたいと思っております。

あと、高齢者の方に対して、普段出張相談というかたちで、薬局や石神井敬老館の方に出張相談会として先生とお話をしつつ、後半は相談会というのをやっております。これから地域の皆様の子供関係の方とも今後つながっていき、図書館を通じて、いろいろな方とコラボしてイベントを考えていきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひいたします。

利用者 石神井保健相談所です。いつもお世話になっております。本日ありがとうございました。

保健相談所では先程、事業報告の中にもご紹介していただきましたブックスタートを、毎月行っております。赤ちゃんの乳児検診の際に、赤ちゃん向けの絵本の配布の紹介ということで、ブックスタートのご案内をしており、赤ちゃんから絵本に親しんでいただく入口のところで、お手伝いをさせていただいております。なかなか、保健相談所で絵本に触れあっていただくような場も少ないとこどもあり、地域の図書館に乳幼児のお母さま方が足を運んでいただけるお手伝いができればと思っておりますので、引き続きブックスタート事業の方で協力をさせていただければと思っております。

あと、歯磨きですか、お食事のことですかこちらの方でも、歯科衛生士・管理栄養士がお話をするなどで協力をさせていただきながら、地域のお子様、保護者、地域のお住まいの方の健康について、一緒にご協力させていただくことができればと思っておりますので、今後とも引き続きよろしくお願ひいたします。

図書館 よろしくお願ひいたします。ありがとうございます。

利用者 児童室でよみきかせをやっております。

子供たちの絵本をめくる時の嬉しそうな顔を見ると楽しくて、年齢も年齢ですが、頑張っております。たくさんのイベントをしていますが、図書館本来の、資料に対しての時間あるんでしょうか。

図書館 もちろん、そちらが基本的な業務ですので、そちらを土台に各担当で行っています。

利用者 レファレンスや、どんな年齢の方が多いとか、中学生の来館はどんな感じかなどを伺いたかったと思います。

今よみきかせしていて、子供たちもいらっしゃいますが、時々おばあさんが、「聞いていいのかな」なんていらっしゃいます。この間のフェスティバルには、あれだけの方が、時間前にそろつてくれただったので、大人向けの絵本を伝えるような機会があればいい、という風に思います。

この間のおはなし会フェスティバルでは、本当に皆さん喜んでいただいて、大人の方もたくさんご参加いただきまして、みなさんの素晴らしいよみきかせ、すばなしもあり、本当に素晴らしいフェスティバルになったと思っております。一昨年には、大人のためのものも開催したので、また考えていきたいと思います。ありがとうございます。

利用者 石神井ブックスタートの会です。

本当に先程ご紹介いただきました通り、毎週水曜日と第2・第4土曜日活動させていただいていますが、このような広いスペースを提供していただき、いつもゆったりと色々活動させていただいて、図書館のご協力もありがたいと思っております。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

利用者 いつもお世話になっております。上石神井児童館です。

上石神井児童館は、上石神井駅の南口になるので、どちらかというと関町図書館さんと連携することが多いです。しかし、その文化館や、プールも利用しているお子さんが多いのは、児童館を利用しているお子さんからも見て取れる傾向だと思います。その中で、図書館さんには乳幼児のよみきかせで来ていただき、児童館からも、出前として小学生向けの工作や、ボードゲームのイベントを行わせていただいておりますので、今後とも石神井図書館さんとも連携をとっていかなければな、と思っております。また、向かいのすぐそこの石神井小学校も弊社、同じ事業所で運営しているので、今後何かの機会には、連携をとりやすい環境を整えていければ、と思いますので、よろしくお願ひいたします。

図書館 よろしくお願ひいたします。

利用者 地域文庫で活動しています。それ以外にも、布のえほんの会やN C B Nにも参加しています。

石神井図書館は、今ご紹介いただいた通り、すごくたくさんの行事を抱えて、よくやってらっしゃると思います。ただ、この石神井地域も結構広いので、どうしても接点になる所が欠けているところがある、ということもあると思います。どうぞそういうところにも目をやっていただいて、これ以上増やすのはきっと大変だとは思いますが、いろいろな事業をやっていただきたいと思います。

多分ご存じだと思いますが、10月30日にくすくす文庫さんが上石神井の方で「ototoilo」をオープンしました。そちらは、有料の施設ですが、中で文庫活動をしていますので、これから石神井図書館の方でも、結びつきもあるかと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。それ以外にも、先程おっしゃっていただいたあしあと文庫さんのように、どうしても図書館は遠くて歩いては来られない子供たちがたくさんいると思いますので、どうぞそちらの方も広げていただければ、と思っておりま

す。よろしくどうぞ。

図書館 ありがとうございます。

利用者 高齢者施設よみきかせボランティアです。

5年前まで、こちらの直営時代の職員として、この事業そのものは、私が担当していたという経緯があり、最盛期に8カ所の老人ホームでよみきかせを行うところまでいきました。その後、コロナになってしまって、3年間ほど全くできない状態で、指定管理の方になり、このTRCのみなさんの方でも引き継いでいただき、ようやくぼちぼちと再開しているところです。ただ昔ほど、8カ所とは言いませんが、現在の活動は、年に3回か4回程度なので、もう少し増やしていただきたいと思っています。前、公募してボランティアの方集めましたが、その方々も、やっている中で大分上達していて、この前のよみきかせでもずいぶんうまくなつたな、と感じています。ボランティアの方を育てるという意味でも、是非場数を作つて頂きたいと思っています。おはなし会フェスティバルの時も参加させていただきましたが、その時も元ボランティアの方から、「最近声をかけていただけないですね」、等の声も頂いたくらい、やりたい方がたくさんおります。

また、図書館の高齢者サービスという意味でも、来館できる人というのも、高齢者の場合は限界があるため、やっぱり図書館を出ていくということは当然必要だと思います。高齢者に目に向けることが、これから図書館サービスの中でも非常に重要な部分だと思いますので、今後ともよろしくお願ひしたいと思っております。

あと、この場で紙芝居サークルの方と前々回の時にお話して、よみきかせに、今回参加していただきました。それから、おはなしの会の方も、やはり参加していただいているので、こういう場で、図書館だけでなく、横のつながりができるというのが非常に重要だ、いいことだ、と思っております。今後とも、よろしくお願ひいたします。

図書館 ありがとうございます。

利用者 白百合福祉作業所です。

先程から、いくつか、私共の団体も出てきていますが、出張白百合福祉作業所、また、白百合まつりでご協力いただきまして、ありがとうございます。

出張白百合福祉作業では、この場でパネル展等をやらせていただきましたが、「あるのは知っていたけど、中でどんなことをやっているのか分からなかつた」という方々が、ここを見て、目の前ですので、その足で白百合の方に来て、施設を少し見たり、実製品のご購入をいただいたりと、とても有意義なイベントだったと思っておりますので、是非引き続きお願いをしたいなと思っています。

また、白百合まつりでは、よみきかせをしていただきました。先程館長がおっしゃったように、5年ぶりに地域に開いたおまつりとなりましたが、5年前と違い、特にブリリアができたということが大きく、また、石小で地域の保育園の運動会があつたということで、お子さんの参加者がとても多く、よみきかせの方も、かなりの人数、座れないくらいのご参加をいただいた、と思っています。ぜひ引き続き、私共も地域に開かれた、地域とつながつた施設づくりを目指しておりますので、またどうぞよろしくお願ひいたします。

図書館 お願いいたします。

利用者 石神井障害者地域生活支援センターういんぐです。

石神井保健相談所の1階の中に事業所を構えて、主に精神障害のある方が、居場所として利用されたり、色々なプログラムに参加されたりしています。利用されている方は、過去にいじめを受けて、大人になってからも大変生きづらさを感じられるということなので、小さなときに、自分を大切にすることと、人を大切にすること、尊重するとはどういうことなのか、が伝わる教育や、触れる機会があると、大人になった時も幸せな生活が送れるのではないかと思いながら、仕事をしています。

図書館では、たくさんのこと取り組まれていることを今日初めて知った次第ですが、今後も、そういうところで何か、ういんぐとして図書館の方と協力して取り組めることがあつたらな、と思いました。ありがとうございました。

図書館 ありがとうございます。ういんぐの方には毎年スタッフ向けに障害理解に関するものや、合理的配慮に関すること等の研修にご協力いただいております。また、3月には、障害理解に関する講座も予定しております。ありがとうございます。

利用者 ねりまおはなしの会です。

ねりまおはなしの会は、現在五十数人会員がいまして、そのうちの何人かでそれぞれの図書館へ行っておはなし会をしています。この石神井図書館でおはなし会が始まったと伺っていますが、現在は全図書館でおはなし会をやっています。しかし、この頃は、お客様が少なく、この間などは1人も来ていただけなくて、会員だけが待ちぼうけ、ということがありました。多くても二人くらいと、ちょっと寂しい状態です。おはなし会フェスティバルの時には、お父様と子供さん、お母様と子供さん、とかなりたくさん来ていただいて、お客様があつてこそそのお話なので、とてもやりがいがありました。ですから、もう少し、幅広い方に来ていただくように、子供さんだけでなく、両親と子供さん、あるいはおじいちゃんおばあちゃんと子供さん、というかたちで来ていただいてもいいと思うので、もう少し宣伝していただけたらいいかな、と思っています。私たちも、お子さんが一生懸命聞いて下さるその姿がとても嬉しくておはなしを続けています。是非もう少し宣伝していただけたらと思います。こちらにいらっしゃる皆様も、ここでは第3水曜日の3時から、そういう会がある、ということを、ぜひお近くの方に、子どもさんだけで来る必要はなく、どなたか、大人の方とお子さんというかたちでいらしていただけたら、大歓迎いたしますので、是非ご宣伝いただきたいと思います。ありがとうございます。

図書館 ありがとうございます。おはなしの会のみなさまには、毎回本当に素晴らしい素話を披露していただいている、図書館としても、一人でも多くの方に届けたいと考えております。時間帯の見直しも含めて、適宜相談させていただきたいと思っております。今後もよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

図書館 皆様たくさんのお話ありがとうございました。先ほどの事例でも報告させていただいた通り、みなさまのご協力のおかげで図書館は成り立っております。さらに充実させていきたいと考えておりますので、引き続きご協力の程、よろしくお願ひいたします。また、先ほどお話にもありました

通り、こちらの懇談会をきっかけに連携に発展したという事例もありますので、この利用者懇談会は、図書館にとって大変有意義な会となっております。

これからも「地域とともに歩む図書館」を基底に、本を通して多様で豊かな世界と出会える事業を展開してまいりたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

5 閉会の挨拶

時間となりましたので、以上で閉会とさせていただきたく思います。引き続き、図書館の運営にご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

本日は貴重なご意見をいただきありがとうございました。またのご来館をお待ちしております。
冒頭にもお願いしましたが、アンケートにご協力をお願いいたします。お帰りの際に出口にて回収いたしますので、ご協力をよろしくお願ひいたします。

本日は、ありがとうございました。